

# あおぞら

発行:愛知県被災者支援センター

住所:名古屋市東区泉 1-13-34

名建協 2 階

TEL:052-971-2030

FAX:052-971-2050

開館:月曜～金曜 10 時～17 時



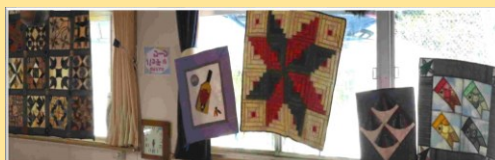
## 「冬のあったか芋煮会」 参加者の作品展示コーナー

(P4 参照)



## あま市小中学生の

### 「絵手紙を送ろう」(P7 参照)



## 「令和 6 年能登半島地震」災害義援金・支援金

振込み口座ご案内(順次予定)

### ★愛知県・義援金口座振込みの場合 (1/12～3/15)

- ・銀行振込：三菱UFJ銀行 愛知県庁出張所  
口座番号：普通預金 0039762  
口座名義：令和 6 年能登半島地震愛知県義援金

### ★RSY 支援金振込先

- ・郵便振替：00800-3-126026  
加入者：特定非営利活動法人レスキューストックヤード
- ・銀行振込：三菱UFJ銀行 本山出張所  
口座番号：普通 3505681  
口座名義：特定非営利活動法人レスキューストックヤード

## もくじ

P1. 表紙:交流会・絵手紙の写真、能登半島地震支援等の口座案内

P2～4.各交流会 (①甲状腺エコー検診&交流相談会

②濱田農園農作業体験交流会「さつま芋掘り」

③3 団体合同・冬のあったか芋煮会

P5. 子ども食堂・猫、ファミリーミュージカル観劇ミニ交流会、ウクライナ避難者大交流会・能登半島支援街頭募金

P6～7. 寄稿「壺の話」、あま市小中学生からの寒中見舞い絵手紙

P8. イベント情報、レシピ、編集後記

## 甲状腺エコー検診&交流相談会 11/26 (名古屋市・名南病院)

年2回恒例の甲状腺エコー検診&交流相談会を愛知民医連と共催で、11月26日(日)、名古屋市の名南病院を会場にして開催しました。参加者は12世帯22名で、皆さんのアンケートの声をご紹介します。



### ①甲状腺エコー検診(民医連医師・検査技師・看護師による)

- ・3年間検診を受けてなかったので、今回受けることができて良かったです。
- ・大人になると福島での検診の機会がないので、とても不安になります。また次もあるとうれしいです。
- ・毎回丁寧に診察していただいて、とてもありがたいです。身体の悩みも聞いていただけてもらえるので助かります。

### ②健康講座(医師による)

- ・お医者様からの講義もあり、とても勉強になりました。毎回、このような場を作っていただき、ありがとうございます。
- ・働きすぎも健康に良くないので、ゆっくり生きていきたいと思いました。



### ③「個別相談」(在宅保健師、司法書士、多文化ソーシャルワーカー等による)

- ・できるだけ長く続けてもらいたい。アレルギーの相談ができて良かったです。
- ・司法書士さんに相談。

### ④みんなの場(東別院ボランティアによる念珠づくり)

- ・念珠づくりも楽しかったです。かわいいものができて、すごく嬉しいです。

### ⑤みんなの場(ハーブ・アロマ手浴で癒しとおしゃべり)

- ・久しぶりにみんなに会って、楽しかったです。
- ・交流会があることにより、知り合いに会えることができるので、うれしい。普段知り合いがいないので、話す機会がないので、ここでおしゃべりができ、とても楽しいです。



- ・沢山の知った顔が見えて、声かけてくださり、楽しかったです。
- ・地産地消のお弁当を今も用意してくださり、ありがとうございます。
- ・それぞれの事情で、避難が長引くと思うので、このような交流の場を設けていただくと、救われる方もいると思うので、継続していただきたいと思います。





良い天気にもまれた畑で、濱田さんにさつまいもを切らないように掘り起こすコツを教えてもらいながら、頑張った参加者・ボランティアの皆さん。半数の人たちは、ミカン畑へミカンの収穫に行きました。



今年もさつまいもをゲット!!  
ミカンの収穫に誘われたけれど、  
「ぼくは、おいしいのほうがいい!」と主張したY君、さすが!  
収穫したさつまいもも大きいけれど、  
毎年の濱田農園の交流会で会うY君も、ずんずん大きく成長しましたよ!



夏の涼しい木陰のぶどう棚の下で昼食。  
葉はすっかり落ちて、風が吹きだし、座っていると寒くなってきました〜



「どこかのレストランのランチ  
みたい!」って?!



ボランティア・Tさんの、  
いつもの手作りパン♥「おいしい!ありがとう」



「皆さん、どうもお疲れ様でした」 また来年—。



手作りブランコも楽しい♪



Kさん、さっそく夕食に、  
「感謝!」のおいしいさつまいも料理! 黄色の色も鮮やかで、ほかほか、いい香りもただよってきそう♥



## 餅つき & 冬のあったか芋煮会

12/17(日)10:00～14:00、発達センターあつたを会場に、

①震災・原発事故による県外避難者自主グループめぐり合いの会（「めぐりあい交流会」）②東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや（「お茶っこサロン」）③愛知県被災者支援センター（「あおぞらカフェ」）の3団体が、合同で「餅つき&冬のあったか芋煮会」（協力:名古屋キリスト教社会館）を開催しました。参加者は17世帯24名(内小人5名)。

参加者の中には、餅つきに腕を振るう人、餃子の皮を上手に包む人、展示コーナーに自作イラストを出品したり、パッチワークの大作を飾ったり、お楽しみ演奏会でリズムを取った人など、それぞれの場所でお得意な腕前を披露されました。

### 《参加者アンケートより》

- ◎おもちをいっぱい食べました。子どもたちもとても喜んでおり、楽しかったです。バイオリン、ピアノ演奏もとてもお上手でした。音楽団様も心に残る演奏ありがとうございました。
- ◎久しぶりの交流会に参加して、あまり知っている人はいなかったが、美味しいもちと芋煮を食べ、心があたたまりました。また今度こういう会があったら、参加したいと思いました。何十年ぶりに、あわてんぼうのサンタクロースを歌い、昔を思い出されました。
- ◎正月より先にもちをいただきました。楽しい一日、ありがとうございました。
- ◎おもちおいしかったです。ぎょうざやみかんもおいしかったです。えんそうもすごいと思いました。
- ◎とても楽しい時間をありがとうございます。うれしかったし、なつかしい顔を見ることができ、素晴らしい演奏もうれしかった。又、会える日を楽しみにしています。
- ◎芋煮会が無くならなくて、本当に良かったです。



## 「子ども食堂“猫”」の活動紹介

(編集委員：瀧川 裕康)



12月17日(日)11:30～14:00「子ども食堂 猫」を開催しました。毎月第3日曜日に、古いアパートの二部屋を大家さんのご配慮によりお借りして実施しています。基本的にはここで食事して頂きますが、それを望まない方には食材の配達もしています。その他、提供されたリサイクル衣類の持ち帰り、お話し会、読書会、囲碁クラブなど、この狭いスペースを目いっぱい利用しています。



今回は年末で40人参加、クリスマス会の飾り付け、音楽会も実施。最後には、在日中国人ご兄弟がピアノでヨハンシュトラウスのラデッキー行進曲を演奏し、沢山の拍手を得ました。

愛知県被災者支援センター・濱田農園農作業体験交流会「さつまいも掘り」から提供して頂いたさつまいもは、今回はバターたっぷりのスイートポテトに料理されて大変美味しかったです！また来年1月の子ども食堂にも利用する予定です。濱田農園農作業体験交流会のご厚意に感謝します。

ありがとうございました。



## ファミリーミュージカル観劇ミニ交流会「赤ずきん 3びきのこぶた」@日本特殊陶業市民会館

12/23(土)、恒例のファミリーミュージカル観劇に3世帯8名(内子ども3名)が参加して「赤ずきん 3びきのこぶた」を楽しみました。ミニ交流会で子どもたちが書いた絵やメッセージカードに、楽しかった様子が表現されています。



## ウクライナ避難者のこの頃 (あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワーク事務局レスキューストックヤード)

ウクライナの避難者の大交流会が、11/18・19に西尾市のリゾートリンクスで行われ、70名程が参加。



日本語学習、就労、健康、教育等の相談会



1/6 ウクライナ避難者が能登半島地震街頭募金活動に参加





昔、ある国に三つの美しい青磁の壺があった。焼き上がった後の窯変まで全く同じように出来た壺は、それぞれの違いを見分けられない程に美しかった。作った東晋はそれらを隠し続けた。しかし、これらの壺がどのような評価がされるのかが知りたくて、ある日そのうちの一つを同じ作陶仲間の一人に見せた。彼は、その壺に呑み込まれたかのように眺めていたが、「譲ってくれとは言わないが、貸してくれ」と言い、「これを参考にして、いいものを作りたい」というのだった。が、その仲間の目がなんとも嫌な目つきをしていたので、東晋は断った。

ある日、町まで買い物に出かけ帰ってみると、壺の一つが無くなっていた。昨夜、一つだけを取り出し眺めた後、そのまま机に残したことを後悔した。想い当たるのはあの人しかいないと思い訪ねると、小屋はもぬけの殻であった。もしやと思い、大きな水瓶の中に沈め隠しておいた残りの二つの壺は無事だったが、引き上げた時に壺が垂らした水滴は、首から赤い涙を流しているかのように見え、なんとも寂しげだった。

東晋はその後も自分の作陶小屋で作り続けたが、決してあの壺以上のものを作ろうとはしなかった。あくまでも、近隣の村人たちの為に役立つものを作心を砕き作り続けたが、盗まれてからほんの一年もしないうちに亡くなってしまった。

亡くなった彼の小屋を片付けていた雇い主が、水甕の中に沈んでいた二つの壺を見つけた。「これは…」雇い主は、これとそっくりな壺を領主の屋敷で見た事を思い出した。その壺は、盗んだ本人が作ったものとして領主に買い上げられ、彼は専用の工房を与えられ、重用されていたのだ。あれほどのものではできないまでも、それなりの腕はあった為、弟子も多く抱え、裕福に暮らしていた。

雇い主もてっきりあの壺は彼が作ったものと思

っていたのだが、今は全てを知ってしまった。雇い主は、再びあの壺を見せてほしいと領主に頼んだ。領主は、あの壺の首のあたりが少し赤みを帯び始めている、と言いだした。盗んだ者に聞いても分からなかったと話しながら、領主は謁見の間の棚から壺を大事そうに取り下ろし、雇い主に手渡した。初めて見た時と比べると、確かに縁の辺りが少しだけほの赤く変色している。透き通るような青みに赤い曇りが入っているように見えた。「このように変わり始めたのは、いつごろからですか」雇い主が聞いた時期は、丁度東晋が亡くなった少し後であった。

そこで、雇い主は、あの水甕の中に沈んでいた二つの壺の話をした。領主は翌日二つの壺を持参するように命じ、一方でその日のうちに盗んだ者を呼び出し、何も言わずに牢屋に入れ、「明日大事な話がある。それまでここに留まっているように」と伝えさせた。

翌日は早朝から尋問が始まった。盗んだ者は色々言い訳を重ねていたが、目の前に二つの壺を出されると、口をつぐんでしまった。盗んだ者はあの壺のお陰で得たすべてを失い、遠くの国に流されてしまった。盗人が作ったと言った壺は領主に嫌われ、二つの壺と共に雇い主の元で三つ揃うことが出来た。その為か、赤く変わった色目は薄くなっていた。

当時、この国は隣の国から侵攻を受け、無理難題を持ちかけられ、国主は悩んでいた。何とか隣国の国王のご機嫌を取ろうと煩悶していた時、この壺の話で領主から聞いた国主は、三つのうちから二つを領主に命じ取り上げてしまった。隣国の国王には一対の壺として贈り、何とかご機嫌を取り結ぶことが出来た。おかげで雇い主は様々な宝と土地を与えられ、裕福に暮らしていた。ある時ふと手元に残されていた壺が気になり、人目を避けるように隠し持

（右ページへつづく）

っていた壺を取り出してみた。壺の首辺りは、前に見た薄赤い曇りが深紅に変わり始めていた。しかも首筋から腹部のふくらみに掛け、血が中から滲み出しているように見えた。これを見た雇い主は、慌てて領主の館に行き、この事を伝えた。領主もすぐさま国主の下を訪ね、これまでの事を伝え、国主も隣国の王に知らせた。隣国はこの壺を貰った頃から勢いに影が差し始め、国王は病の床にあった。知

らせを受け、壺を確認すると、同じように姿が変わり始めていたらしい。王の病はもしかするとこの壺によるものか、と恐れた国王の従者たちは、王の了解を待たずに二つの壺を返して来た。

この小さな国は、三つの壺が揃った事で、国には平和が戻って来た。

(「壺」は、立法と司法と行政の三つの壺である)

## あま市小中学生から、絵手紙が届きました！

### 「絵手紙の取組みは 11 回」

あま市の 17 校の小中学校の「愛知県に避難されている方に寒中見舞いの絵手紙を送ろう！」の取組みで、今年もたくさんの絵手紙が届きました。あま市小中学校人権教育研究会の先生方が、2013 年から取り組んでこられて、今年度で 11 回目となっています。

### 「震災を忘れない」

2011 年の東日本大震災・福島原発事故を忘れない、風化させないという取組みで、震災・原発事故をほとんど体験していない若い世代に伝えていくという、「絵手紙」を通した貴重な学びの機会です。最初は甚目寺中学校で始められ、現在ではあま市内の全学校にその輪を広げられています。

コロナ感染拡大の前は、避難者の代表の方があま市役所での贈呈式に参加されていましたが、その後は残念ながら対面ではかなわず、人権教育研究会から研究主任の加藤先生他代表の先生方が届



けてくださったり、郵送で届いています。

### 「心を伝える絵手紙」

今回も力作の絵手紙がたくさんあり、避難者の皆様へ定期便に同封してお配りするための準備作業は、とても楽しく携われます。絵手紙には、「寒中お見舞い」や「あったかくお過ごしください」、「一人じゃないよ」などのメッセージが添えられ、春を呼ぶ花の絵や雪だるま、プロ級(!?)の人物のイラストなど、それぞれ個性が発揮されています。きっと受け取る避難者の方々を思いながら、語り掛けているのではないのでしょうか。絵が得意でない人もいるでしょうが、何かを伝えようと取り組んでいる姿が想像できます。

今回は戦火のウクライナから避難されているご家族宛にも作成されているとのこと、きっと国を越えた人びとの励ましとなるでしょう。

さて、皆さんの所へはどの作品が届けられたでしょう？

(スタッフ 戸村)



【イベント情報】 ＊開催・内容等が変更になることがあります。詳しくはチラシでご確認ください。

| 開催日                    | イベント名                   | 内容（主催など）                                                                                                                     | 会場                                                  |
|------------------------|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 2/3(土)<br>10:30～15:00  | ふくしま交流会                 | 甲状腺エコー検診とお楽しみコーナー。主催：ふくしま交流会実行委員会                                                                                            | ライフポートとよはし<br>勤労者会館 第一会議室<br>(豊橋市神野ふとう 3-22)        |
| 2/17(土)<br>10:00～13:00 | あおぞらカフェ<br>「手作り豆乳を作ろう！」 | 避難者の工藤さん(港区)に、本場中国の「手作り豆乳」の作り方を教えていただきます。                                                                                    | レスキューストックヤード（名古屋市 名城線/<br>桜通線・久屋大通 1A 出口<br>徒歩 3 分） |
| 3/11(月)<br>13:00～18:00 | 東日本大震災<br>犠牲者追悼式        | 主催:東日本大震災犠牲者追悼式<br>あいち・なごや実行委員会<br>14:30～15:00(14:46 黙とう)<br>献花・記帳は 13:00～18:00 の間。<br>(17:46 にも黙とうを行います)<br>(献花用お花持ち込み可能です) | 鶴舞公園・普選壇（JR 中央線鶴舞、地下鉄鶴舞線:<br>鶴舞）                    |



### <さっちゃんのレシピ>

#### さつま芋もち

【材料】もち 5 つ、さつま芋 300～450 g、砂糖大さじ 2、塩小さじ 1/2、きな粉適宜

#### 【作り方】

- ① もちは、1 個を 6 等分に切る。
- ② さつま芋は、適当な大きさに切り、ヒタヒタの水で煮る
- ③ ②に八分通り火が通ったら①を入れ、弱火で焦げないように気を付けながら、もちが柔らかくなるまで加熱する
- ④ ③が柔らかくなったら砂糖、塩を入れ、すりこぎなどで芋をつぶしながら、もちと芋を完全に混ぜる。
- ⑤ ④の荒熱がとれたら、適当な大きさに丸め、きな粉をまぶす



#### 【編集後記】

- ・能登半島地震はまだ被害の状況さえ見えていません。12 月 3 日は早朝から、フィリピン地震の影響で日本の各地に津波警報が出され、従兄弟が住んでいる所は避難指示が出ていました。私は「自分の命は自分で守って！安全な所に早く逃げて！」と逃げなきゃコールをしました。従兄弟からは「大丈夫です。風邪引かないでね」とのんびりした返事が返ってきました。この時は何事もなく良かったです(T.S)
- ・ウクライナ ガザの戦争 人が死ぬ もう止めてくれ 停戦になれ / 世界中 停戦主張 どの人も勝つか負けるか それより命 / 年開けて 6 年目なり 短歌詠み テーマは日記 日々の生き甲斐 / 能登半島 16 時ごろ 震度 7 地震発生 津波発生 (T.H)
- ・甚大な被害の能登半島地震。1/6 からの街頭募金活動(レスキューストックヤード主催)にウクライナ避難者の方々も参加して、「ご協力お願いします！」「ありがとうございました！」と日本語で声を上げていました。また、「皆さんが入れてくれるように、募金箱に最初に 5,000 円入れました」とこっそり (T.K)